



▲銚子の営業所とつないだリモート会議システム



▲千葉本社の外観

新型コロナウイルスが感染拡大し、外出自粛が求められるようになりましたが、製造工場での仕事が多い当社では、テレワークができる部署は限られています。それでも緊急事態宣言が発令された4月、従業員の感染防止のため、テレワークが可能な部門を検討した結果、営業部門の積算業務担当を対象にしました。図面を広げて数値を読み取り、数字を入力して見積もりを出す仕事なので、パソコンを支給すれば、自宅での作業は可能です。ただ、図面は取引先との守秘義務があるため、情報漏えいのリスクを考慮して、書類のやりとりは宅配便を利用。テレワークは、親世代と同居など自宅の住環境といった本人の事情もあるため、話し合ってから決めています。

テレワークを求めたパート従業員の中には、「家にこもってしまったら、パートに出た意味がない」と当初は難色を示す人もいましたが、感染防止のため納得してもらいました。現在では2週間に一回程度出社し、進捗状況を報告して日報での報告です。休憩時間などは細かく設定していませんので、期間を決めて、それまでに終わってくれば問題ありません。テレワークを導入して半年以上たちますが、問題なく業務を遂行してい

積算業務でテレワーク定着



▲ダクトを製造する千葉工場の内部

製造部門もテレワークに挑む――

コロナ感染防止と経費削減を両立

建物の空調や換気に欠かせないダクトを製造・施工・販売する美浜区の株式会社タムラカントウ。関東一円で空調設備工事に携わってきました。これまで、品質を追求し、積極的に設備投資を進め、業界では全国2位の売り上げを誇る会社に来て成長してきました。国内で新型コロナウイルス感染症の影響が広がり始めると、従業員を守るため、製造部門でありながら、テレワーク導入に挑み、交通費削減や生産性向上などの効果が出ているといいます。この変革の旗振り役、田村真光社長にお話をうかがいました。

製造部門は従業員の親睦が大切

私どもの会社では建物の空調や換気に欠かせないダクトを製造しており、県内の大型ショッピングセンターや東京・渋谷にある商業ビルなど有名な施設に空調設備工事を施工してきました。大きな工場から小さな事務所まで、お客さまのニーズに応え、オーダーメイドで製品を納めています。施工が主な業務ですが、メンテナンスや技術開発にも力を入れてきました。最新の機械を導入する一方で、手作業に頼る部分も多く、同じものを作ることはほとんどありません。コロナ禍で換気の重要性が叫ばれる今日では、感染症対策としての空調設備工事の相談も数多く受けています。

会社は1970年に先代の現・田村行雄会長が創業しました。その後、工

場への設備投資と規模拡大を続け、ダクト設備工場の工事業者の中では全国で売り上げ2位になるまでに成長しました。現在では、従業員110人を抱えています。ベトナムから8人の技能実習生も受け入れており、技術力で世界に貢献しています。

ものづくりの現場では、機械の輸入や加工作業などで従業員同士のコミュニケーションが不可欠です。その連携こそが当社のモットーである「完全ゼロ事故」につながっていると思います。ですから従業員同士の親睦を創業以来大切にしています。同業他社が次々に取りやめる中、いまでも実施する関東各地に一泊する社員旅行や社内運動会は、毎年恒例の社内行事です。いずれもコロナ禍の影響で今年は開催を断念しましたが、収束後は社内行事の再開を予定しています。

て、遠距離通勤だった人からは「楽になった」と好評です。週に数日でもかまいませんので、本人の希望があれば今後も進めていきたいですね。

テレワークに当たっては、電気代に相当する手当を支給しています。通勤手当は止め、必要ときに会社に来る際は交通費を実費で負担しています。遠方からだとパソコンを支給しても割に合い、経費削減にも役立っています。

オンラインで生産性向上も

緊急事態宣言は終わりましたが、移動による人との接触を少しでも減らすため、1カ月前からは社内のやりとりではリモート会議を採用しました。本社のある千葉市と東京・秋葉原、旭市の営業所の3拠点をネットワーク回線で結ぶシステムを導入。これまでは月2回の会議のために、旭市から本社に来てもらっていましたが、往復3時間掛かる社員の移動がなくなりました。これにより会議後すぐに業務に取りかかることができ、銚子営業所の生産性向上に貢献しているそうです。現在は取引先とのリモート会議も増えており、設備が役立っています。コロナがなければ、在宅勤務やリモート会議なんて検討もしませんでした。やってみたら成果は絶大です。工場や現場では作業の分担により連携を密に取らないと進まない業務もあるので、検温な



会社DATA
株式会社 タムラカントウ

取締役社長執行役員／田村 真光
千葉市美浜区新港223-2
電話 043-246-2751

どの感染防止対策を実施しながら、これからもテレワークと出社勤務を併用していきます。

施工現場では工事がコロナ禍で1週間ほど止まることはありましたが、本年度はオリンピック開催による工事の減少が予想されていたので、コロナによる売り上げへの影響はあまりないと予想しています。ただ、コロナの影響で、今後の都市部での開発計画が大幅に変更されるかもしれません。影響が出るのが3年後くらいでしょうか。もし状況が悪化したら、そこをどう乗り切るかを考え経営しています。これを踏まえ、ペーパーレス化と電子商取引を進め、合理化を図っていきます。今後も引き続き、高品質な製品をお客さまに届け、製作力・施工力で差別化を図り競争力のある会社を目指します。